

【報告】

高等商業学校本科生の卒業論文について

杉岳志（島根県立大学短期大学部総合文化学科）

はじめに

一橋大学附属図書館には、一橋大学の前身である高等商業学校以来の卒業論文が収蔵されている。卒業論文には現在「Ayx」の分類記号が割り当てられているが、番号が枯渇する以前の分類記号は「Ay」であった。Ay:1の請求記号を持つ最初の卒業論文は、後に著名な経済学者となる福田徳三が研究科の卒業論文として執筆した *Commercial Crises and Depression of Trade* である。高等商業学校の本科を卒業して研究科へ進学したのは福田が初めてではなかったが、研究科の課程を修了したのは彼が初めてであった。

Ay:2以降は研究科に代わって設置された専攻部の卒業論文であり、Ayの資料群に高等商業学校本科の卒業論文は含まれていない。こうしたことから、高等商業学校時代の卒業論文は研究科及び専攻部のもののみが収蔵されていると考えられてきた。ところがこの度、高等商業学校本科の卒業論文が見つかった。本稿では、これまで存在の知られていなかった高等商業学校本科生の卒業論文を紹介することにしたい。

1. 発見の経緯

本科生の卒業論文は、「高等商業学校・東京高等商業学校・東京商科大学学生調査報告書」（通称「修学旅行等報告書」）の中から見つかった。この資料群のかつての名称は修学旅行報告書であったが、修学旅行報告書以外の資料も含まれることが判明したため、現在では「修学旅行等報告書」と称されている。

筆者はかつて、修学旅行等報告書を次のように分類した¹。

- ①高等商業学校・東京高等商業学校本科の学生による修学旅行報告書
- ②東京高等商業学校附設商業教員養成所の学生による修学旅行報告書
- ③高等商業学校内国実践科へ提出された報告書
- ④実習見習の報告書や教員が留学した際の報告書など、①から③のいずれにも分類することのできない報告書

今回改めて調査を行った結果、③の報告書の一部は本科生の卒業論文であることが判明した²。図1は、明治34（1901）年度に本科3年生であった永島雄治の卒業論文である（請

求記号 Azn:284。以下、請求記号のみ記す)。永島は本科卒業後ただちに三井物産に就職しており、専攻部には進学していない³。したがってこの論文が専攻部の卒業論文である可能性はなく、これは本科の卒業論文である。

この他、資料中に卒業論文である旨が明示されているのは、松永祐三「上海ニ於ケル日本石炭及其売買慣習」(Azn:301)と石井佶「一円紙幣問題之解決」(Azn:311)の2点である。2点は永島論文と同じく明治34年度に執筆されていることから、かつて③に分類した資料のうち、明治34年度に執筆されたものが本科生の卒業論文であると考えられる。

この推測は、資料名から裏付けることができる。明治31~33年度に内国実践科へ提出された資料の過半は、資料名に「報告」という文言を含んでいる。一方、明治34年度に作成された資料で資料名に「報告」の文言を含むものは2点しかなく (Azn:291・Azn:308)、それに替わって「~ヲ論ズ」や「~論」が多用されている。

卒業論文を内国実践科に提出された報告書に分類してしまったのは、卒業論文が明治31~33年度の報告書と同様に内国実践科へ提出されたためである。図2として掲げた大針知三「福井ニ於ケル羽二重業ヲ論ズ」(Azn:295)の扉には、「卒業論文」ではなく「実践科論文」と記されている。このためこの資料は明治31~33年度の報告書と同種のものに思えるが、「報告書」ではなく「論文」であること、ならびに著者の大針は卒業論文を執筆した3名と同学年であることから、この資料は

やはり卒業論文であると考えられる。実践科に提出されたことを示す同様の記載は複数の資料にあり (Azn:263、Azn:270、Azn:275、Azn:276、Azn:277、Azn:285、Azn:286、Azn:289、Azn:292、Azn:299、Azn:310)、調査が不十分な段階では明治33年度までの報告書とは別種

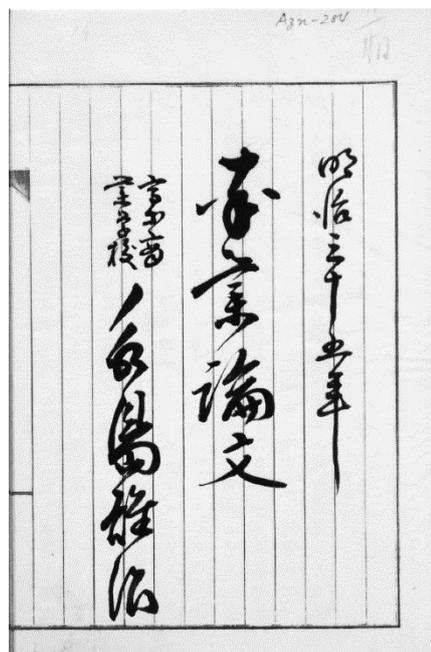


図1 永島雄治「我国産業ノ現勢ニ鑑ミ以テ吾人ノ責任ヲ論ズ」(Azn:284)

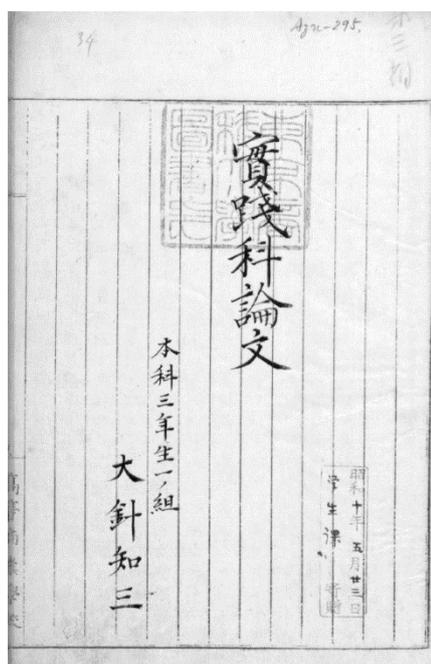


図2 大針知三「福井ニ於ケル羽二重業ヲ論ズ」(Azn:295)

の資料であると判断することができなかった。

以上を踏まえて修学旅行等報告書を分類し直すと、次のとおりとなる。

- ①高等商業学校・東京高等商業学校本科の学生による修学旅行報告書
- ②東京高等商業学校附設商業教員養成所の学生による修学旅行報告書
- ③高等商業学校内国実践科へ提出された報告書
- ④高等商業学校本科の学生による卒業論文
- ⑤実習見習の報告書や教員が留学した際の報告書など、①から④のいずれにも分類することのできない報告書

2. 資料の概要

明治34年度卒業論文の一覧が表1である。資料は請求記号順に配列した。請求記号は作成者順・テーマ順のいずれでもなく、どのような規則に従って付与されたのか現時点では判明していない⁴。番号は、便宜上付した通し番号である。一橋大学機関リポジトリ HERMES-IR にて画像が公開されている資料については、その URL を掲載した。

以下、残存状況・テーマ・評価について、簡単な解説を行う。

(1) 残存状況

明治34年度の『高等商業学校一覧』に在學生として名前が掲載された本科3年生は86名に上るが⁵、卒業論文は76名分しか現存していない。卒業論文の存在が確認できないのは、表1末尾の(1)から(10)の10名である。このうち(6)から(9)までの4名は留年しており、何らかの事情で卒業論文を提出できなかったものと推測される。

残る6名の卒業論文が現存しない理由はわからない。6名のうち3名は優秀な成績を収めており、左右田喜一郎は首席、坂西由蔵は2番、田中信吉は5番の席次で卒業している⁶。3名とも専攻部に進学しているが、進学を理由に執筆が免除されたとは考えにくい。進学した他の学生の卒業論文は現存しているからである(Azn:256、Azn:276など)。他の3名の卒業時の席次は18番・29番・43番であり、成績上位の学生の卒業論文だけが抜けているというわけでもない。

(2) テーマ

卒業論文のテーマは多岐にわたっている。貿易や個別産業をテーマとする論文が比較的

多いが、経済史（Azn:255・Azn:256・Azn:264・Azn:300）や商業教育（Azn:263・Azn:296）、トラス（Azn:276・Azn:292・Azn:315）をテーマとするものもみられる。

テーマは学生が自分で設定した。松本浩一郎「牛莊貿易」の序文には、次のように記されている（Azn:299）。

昨年夏期休暇ノ際不肖清国ニ遊ブノ機ヲ得、偶々牛莊・旅順口ノ諸港ヲ過ギ、些カ露国ノ満州経営ノ状ヲ探リ、之レニ対シテ吾ガ実業者ノ如何ニ処スベキカニ考慮ヲ廻スコトヲ得タリ。偶々実践科論題選定ノ命ニ接シ、之レヲ以テ其責ヲ塞グ。（漢字を通行の字体に改め、句読点及び濁点を補った。下線は引用者による。以下同様）

松本は実践科の論題を選定するようにとの指示を受け、自分の関心に基づいてテーマを設定している。学生たちの設定したテーマから、当該期の高商生の関心や問題意識を読み取ることにも可能だろう。

(3) 評価

卒業論文の一部には、教員による評価が記入されている。筆跡や記入内容から、記入者は3名ないし4名と考えられる。この年の「商業実践」の授業を担当した水島鉄也・東夷五郎・佐野善作・関一・福田徳三⁷のうちの数名が、資料に直接評価を書き込んだのだろう。

2名は点数と共に寸評を記入しており、高等商業学校の教員が評価したポイントをうかがい知ることができる。高い評価が与えられた論文の寸評をいくつか紹介しよう。

大塚俊彦「産業組織ノ変遷ヲ論ズ」（Azn:256）の点数は当初「乙〇・85」であったが、「甲〇・90」に上方修正されている。評価が確認できる論文の中では、この論文が最も高評価である。寸評は「所論・材料共ニ蘄（ママ）新ならずと雖も、巧ニ数種ノ書冊を融合し而紊れず。頭腦の明快を証す」というもので、複数の文献の説を矛盾なくまとめあげた点が評価された。

坂本陶一「我国ノ採ルベキ商業政策ヲ論ズ」（Azn:323）も「甲・90」と高い評価を与えられた。こちらの論文は、「所論商業学校臭味を脱せず、口吻商業作文の昔を忍（ママ）ばしむるもの少からずと雖も、命題・着想周到、勉励共に大に賞す可し。因て甲とす」と命題や着想に対して高評価が下されている。しかし、所論と文体にやや難があり、「甲〇」を得ることはできなかった。

尾木潔男「最近五年間に於ける米価昂低の本邦経済界に及ぼせし影響を論ず」（Azn:316）の評点は大橋・坂本の両名には及ばず、「乙〇・85」であった。「乙〇」止まりとなったのは

論文としての完成度が低いため、命題と着眼に対しては「材料欠如、論断科学的ならずと雖も、命題頗る良く着眼群を抜く。更らに研鑽を積まば実践科論文の亀鑑たるを得ん」と満点の評価が与えられている。この論文の着眼点がユニークであることは、表1の資料名を通覧すれば明らかである。

以上の3点は、同一の教員による評価である。尾木論文に対する評価からわかるように、彼は論文としての完成度よりも命題や着想の良さに重きを置いていた。赤谷由助「普通商業教育論」(Azn:296)に対しては、「説而精からずと雖も、意気如山。頗取る可し。因而乙〇とす」と意気の高さを評価して「乙〇」を与えている。

もう一人の教員は、命題・着想の良さや意気の高さよりも全体の構成や論旨を重視していたようである。彼の寸評は2例しかないが、いずれにおいても「編次当ヲ得タリ。実践科論文トシテ良好ト称スルヲ得可シ」(Azn:309)・「商業政策ト商業ノ盛衰ノ関係ヲ説クコト明ナラザルモ、全体ノ編次当ヲ得タリ」(Azn:324)と編次に言及している。

おわりに

本稿は、この度新たに見つかった高等商業学校本科の卒業論文を紹介した。現存が確認できるのは明治34年度分のみであるが、本資料は、当該期の高商生の関心や問題意識、さらには論文の作成能力などを解明する上で貴重な資料である。本稿では全体の概要を紹介するにとどまった。今後は個別資料の中身を分析することで、上記課題の解明に取り組みたい。

表1 明治34年度高等商業学校卒業論文一覧(2015年3月31日現在)

番号	請求記号	作成者	資料名	資料画像のURL
1	Azn:147	田熊源太郎	日韓貿易	http://hermes-ir.lib.hit-u.ac.jp/da/handle/123456789/6241
2	Azn:148	杉本由夫	将来之日本貿易	http://hermes-ir.lib.hit-u.ac.jp/da/handle/123456789/6978
3	Azn:248	佐久間精一	日英同盟及露仏同盟ノ経済的觀察	オンライン未公開
4	Azn:249	柘植武千代	大坂外国貿易ノ現状	http://hermes-ir.lib.hit-u.ac.jp/da/handle/123456789/6248
5	Azn:250	大貫忠一	敦賀自由港論	オンライン未公開
6	Azn:251	山口龍吉	我が綿糸紡績業ノ将来	オンライン未公開
7	Azn:252	品川卯一	北清貿易論	http://hermes-ir.lib.hit-u.ac.jp/da/handle/123456789/6355
8	Azn:253	小林隆治	日清両国民提携策	http://hermes-ir.lib.hit-u.ac.jp/da/handle/123456789/6224
9	Azn:254	金子孫三郎	庶民銀行ヲ論ズ	http://hermes-ir.lib.hit-u.ac.jp/da/handle/123456789/6162
10	Azn:255	森本重樹	本邦ニ於ケル取引処ノ発達	オンライン未公開
11	Azn:256	大塚俊彦	産業組織ノ変遷ヲ論ズ	http://hermes-ir.lib.hit-u.ac.jp/da/handle/123456789/6111
12	Azn:257	小林貞次郎	小売物価ヲ論ズ	オンライン未公開
13	Azn:258	飯沼剛一	羽二重ノ現状及前途	http://hermes-ir.lib.hit-u.ac.jp/da/handle/123456789/7227
14	Azn:259	飯塚重五郎	海外ニ於ケル日本緑茶ノ位置及ビ之ニ対スル施設	http://hermes-ir.lib.hit-u.ac.jp/da/handle/123456789/6234

番号	請求記号	作成者	資料名	資料画像のURL
15	Azn:260	西郷齊員	ニカラガ運河ニ就テ	http://hermes-ir.lib.hit-u.ac.jp/da/handle/123456789/6318
16	Azn:263	阿部万平	商業学之地位ヲ論ス	オンライン未公開
17	Azn:264	山尾精一	近世産業組織ノ変遷	http://hermes-ir.lib.hit-u.ac.jp/da/handle/123456789/6294
18	Azn:265	藤本恕一郎	重要輸出工業品	http://hermes-ir.lib.hit-u.ac.jp/da/handle/123456789/6141
19	Azn:266	長田正平	経済上ヨリ観察セル所謂競争 調和二付テ	オンライン未公開
20	Azn:267	小川政雄	石炭之現況	http://hermes-ir.lib.hit-u.ac.jp/da/handle/123456789/6972
21	Azn:268	川口磐夫	製茶貿易策	オンライン未公開
22	Azn:269	松沢三四郎	本邦重要輸出鉱産品ニ就テ	オンライン未公開
23	Azn:270	多田羅直一	棉花綿糸業	http://hermes-ir.lib.hit-u.ac.jp/da/handle/123456789/6319
24	Azn:271	一宮作二郎	本邦綿糸紡績業	オンライン未公開
25	Azn:272	近藤良吉	奢侈之経済的觀察	http://hermes-ir.lib.hit-u.ac.jp/da/handle/123456789/6353
26	Azn:273	蛸子聡	通商上清濠兩國ニ対スル我国 ノ関係ヲ論ズ	http://hermes-ir.lib.hit-u.ac.jp/da/handle/123456789/6287
27	Azn:274	加藤操	経済上ヨリ看タル株式会社業論	http://hermes-ir.lib.hit-u.ac.jp/da/handle/123456789/6337
28	Azn:275	武田英一	北海道昆布生産業及其輸出概 況	http://hermes-ir.lib.hit-u.ac.jp/da/handle/123456789/6269
29	Azn:276	池辺龍一	トラストニ就テ	http://hermes-ir.lib.hit-u.ac.jp/da/handle/123456789/7226
30	Azn:277	星賢作	清国通貨並銀行業一斑	http://hermes-ir.lib.hit-u.ac.jp/da/handle/123456789/6334
31	Azn:278	前田清	信託会社	http://hermes-ir.lib.hit-u.ac.jp/da/handle/123456789/6148
32	Azn:279	坂部檜三郎	我取引所ニ就テ	http://hermes-ir.lib.hit-u.ac.jp/da/handle/123456789/6158
33	Azn:280	中村税	個人営業ト結社営業	オンライン未公開
34	Azn:281	永井英夫	銀行之準備金ヲ論ズ	http://hermes-ir.lib.hit-u.ac.jp/da/handle/123456789/6330
35	Azn:282	栗田輝政	牛蠟業ニ付テ	http://hermes-ir.lib.hit-u.ac.jp/da/handle/123456789/6345
36	Azn:283	高木捨次郎	我国ニ於ケル金融ノ繁閑期節ヲ 論ス	オンライン未公開
37	Azn:284	永島雄治	我国産業ノ現勢ニ鑑ミ以テ吾人 ノ責任ヲ論ズ	http://hermes-ir.lib.hit-u.ac.jp/da/handle/123456789/6125
38	Azn:285	井上幹造	本邦塩業	http://hermes-ir.lib.hit-u.ac.jp/da/handle/123456789/6279
39	Azn:286	河野長彦	小銀行ノ簇生並近來ノ破綻ニ就 テ	http://hermes-ir.lib.hit-u.ac.jp/da/handle/123456789/6149
40	Azn:287	渡辺有利太	我外国貿易ニ於ケル農産物	オンライン未公開
41	Azn:288	草間伊太郎	対清貿易拡張策	http://hermes-ir.lib.hit-u.ac.jp/da/handle/123456789/6297
42	Azn:289	渋谷良英	外資輸入ニ就テ	オンライン未公開
43	Azn:290	尾坪卯之助	生糸貿易之前途	http://hermes-ir.lib.hit-u.ac.jp/da/handle/123456789/6310
44	Azn:291	永松四郎	鯨調査報告書	http://hermes-ir.lib.hit-u.ac.jp/da/handle/123456789/6182
45	Azn:292	坪居喜三郎	トラストとモノポリー	オンライン未公開
46	Azn:293	広瀬廉平	九州地方ノ恐慌ニ就テ	オンライン未公開
47	Azn:294	高田四郎	海外貿易拡張論	http://hermes-ir.lib.hit-u.ac.jp/da/handle/123456789/6343
48	Azn:295	大針知三	福井ニ於ケル羽二重業ヲ論ズ	http://hermes-ir.lib.hit-u.ac.jp/da/handle/123456789/6260
49	Azn:296	赤谷由助	普通商業教育論	オンライン未公開
50	Azn:297	北条恭五郎	台湾ノ産業ニ就テ	http://hermes-ir.lib.hit-u.ac.jp/da/handle/123456789/6977
51	Azn:298	関根善作	生糸貿易論	オンライン未公開
52	Azn:299	松本浩一郎	牛荘貿易	http://hermes-ir.lib.hit-u.ac.jp/da/handle/123456789/6180
53	Azn:300	竹田嘉助	明治恐慌史	http://hermes-ir.lib.hit-u.ac.jp/da/handle/123456789/6286
54	Azn:301	松永祐三	上海ニ於ケル日本石炭及其売 買慣習	http://hermes-ir.lib.hit-u.ac.jp/da/handle/123456789/6200
55	Azn:302	竹内寛	阪神両港比較論	オンライン未公開
56	Azn:303	田村秀実	清国上海ニ於ケル我綿布類	オンライン未公開
57	Azn:304	中川精吉	プールス	http://hermes-ir.lib.hit-u.ac.jp/da/handle/123456789/8679
58	Azn:305	富沢清吉	生糸価格論	オンライン未公開
59	Azn:306	竹内岩熊	本邦之毛織物業ニ就テ	オンライン未公開
60	Azn:307	坂本宗蔵	対清輸出貿易之将来	http://hermes-ir.lib.hit-u.ac.jp/da/handle/123456789/6320
61	Azn:308	和田徳	本邦及清韓国木材取引調査報 告書	オンライン未公開
62	Azn:309	荒井勲三	交通機関ノ発達ト国民経済附交 通政策	オンライン未公開
63	Azn:310	西村重次郎	西比利亞貿易	http://hermes-ir.lib.hit-u.ac.jp/da/handle/123456789/6264
64	Azn:311	石井信	一円紙幣問題之解決	オンライン未公開

番号	請求記号	作成者	資料名	資料画像のURL
65	Azn:312	中川太一	かろらいん及びまーしゃる群島貿易ニ就テ	オンライン未公開
66	Azn:313	浜口勇五	中央銀行ト其他ノ銀行トノ関係ニ就テ	オンライン未公開
67	Azn:314	吉田兵助	太平洋航路ト日本ノ地位	オンライン未公開
68	Azn:315	岡山友助	トラスト	http://hermes-ir.lib.hit-u.ac.jp/da/handle/123456789/6192
69	Azn:316	尾木潔男	最近五年間に於ける米価昂低の本邦経済界に及ぼせし影響を論ず	http://hermes-ir.lib.hit-u.ac.jp/da/handle/123456789/6191
70	Azn:317	小沢泰一	我海運業之将来	http://hermes-ir.lib.hit-u.ac.jp/da/handle/123456789/6327
71	Azn:318	水谷新太郎	東京ニ於ケル製網業	オンライン未公開
72	Azn:320	湯浅亮	産業組合ヲ論シテ信用組合ニ及ブ	http://hermes-ir.lib.hit-u.ac.jp/da/handle/123456789/6187
73	Azn:321	千葉清	我国倉庫業	http://hermes-ir.lib.hit-u.ac.jp/da/handle/123456789/6178
74	Azn:322	小野幸三郎	信用組合論	http://hermes-ir.lib.hit-u.ac.jp/da/handle/123456789/6113
75	Azn:323	坂本陶一	我国ノ採ルベキ商業政策ヲ論ズ	http://hermes-ir.lib.hit-u.ac.jp/da/handle/123456789/6169
76	Azn:324	鈴木弘	米国ノ商業政策ヲ論ズ	オンライン未公開
(1)	—	小菅敏治	[現存せず]	—
(2)	—	坂西由蔵	[現存せず]	—
(3)	—	左右田喜一郎	[現存せず]	—
(4)	—	田上春二	[現存せず]	—
(5)	—	田中信吉	[現存せず]	—
(6)	—	福原弥吉	[現存せず]	—
(7)	—	松尾亀吉	[現存せず]	—
(8)	—	松村大助	[現存せず]	—
(9)	—	村上壮次郎	[現存せず]	—
(10)	—	湯浅九市	[現存せず]	—

[附記]

本稿は、平成 26 年度科学研究費補助金基盤研究(C)「20 世紀前期の帝国日本における実学実践と教養主義をめぐる文化研究」(課題番号 24520746、研究代表者：阿部安成)の成果の一部である。

- ¹ 杉岳志. 高商生の調査報告書. 小樽商科大学史紀要. 2012, (5), p. 39-41.
- ² 旧稿において③は「明治 30~33 (1897~1900) 年度作成分が現存」と記したが、正しくは「明治 31~34 (1898~1901) 年度作成分」である。合わせて訂正したい。
- ³ 東京高等商業学校一覧. 1903, 1902-1903, p. 131.
- ⁴ 杉岳志. 東京高商の修学旅行とその報告書. 一橋大学附属図書館研究開発室年報. 2013, (1), p. 6.
- ⁵ 高等商業学校一覧. 1901, 1901-1902, p. 67-69.
- ⁶ 東京高等商業学校一覧. 1903, 1902-1903, p. 131.
- ⁷ 高等商業学校一覧. 1901, 1901-1902, p. 13-14.

[Report]

A Note on Graduation Theses of Tokyo Higher Commercial School

Sugi, Takeshi.

The University of Shimane Junior College